

2021

今、保健師 だからできること!

すすめよう!

難病保健活動・災害時支援体制の整備

Zoomによる
Webセミナー開催決定!

2021年 12月 15日(水)

15:00~18:00

★事前申込制・参加費無料

ライブ視聴はムリかもという方も
オンデマンド配信を予定しています!
ぜひお申込みください!

【対象】 都道府県、保健所設置市・特別区等で難病保健活動に従事する保健師等の皆様

【申込方法】 厚生労働省「難病患者の支援体制に関する研究班」ホームページよりお申し込みください

<https://plaza.umin.ac.jp/nanbyo-kenkyu/> ◆申込受付 11月18日(木)~12月3日(金)

<プログラム> (予定) 途中休憩含む

司会 小倉朗子(研究分担者/東京都医学総合研究所)

15:00 開会

ご挨拶 厚生労働省 難病対策課

◆難病者の災害対策をすすめよう

基調講演
・災害時の備えをすすめる! 行政職だからできること
~基礎自治体における危機管理部門での活動から
災害対策推進における自治体内部部門連携のコツと保健師職への期待~
鍵屋 一氏 (跡見学園女子大学/一般社団法人福祉防災コミュニティ協会)

(情報提供)
・災害対策基本法の改正と個別避難計画作成の推進
内閣府モデル事業ご担当

活動報告
・難病患者の支援体制の整備にかかる難病保健活動
-保健医療計画と協議会の活用、災害にかかる内閣府モデル事業におけるとりくみ等の紹介-
興津静香氏 (滋賀県 健康医療福祉部)

◆総合討論

- ・被災地における活動報告(資料)等からの学び・検討
- ・鍵屋氏、内閣府ご担当からのコメントなど
- ・各講師の先生方からの追加のご発言、ご感想など
- ・参加者からのご質問など

指定発言: 佐藤 文氏 (東京都福祉保健局保健政策部疾病対策課)

溝口一氏 (厚労科研 研究分担者/国立病院機構 静岡医療センター)

まとめ: 千葉圭子氏 (厚労科研 研究分担者/京都府看護協会)

小森哲夫氏 (厚労科研 研究代表者/国立病院機構 箱根病院 神経筋・難病医療センター)

18:00 閉会

講師紹介・講演概要

鍵屋 一 氏

跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部 教授
一般社団法人 福祉防災コミュニティ協会 代表理事

東京都板橋区で防災課長、板橋福祉事務所長、福祉部長、危機管理担当部長等を務められ、2015 年月からは現職にて、地域防災、災害時要援護者支援、地区防災計画などに関する研究やご活動をなさっています。現在内閣府は、災害時の「個別避難計画作成モデル事業」を実施していますが、鍵屋氏は、そのアドバイザーボードの座長もお務めです。

ご講演では、鍵屋氏が行政職としてめざしてきたこと・大切にしてきたこと、そして危機管理部門での施策推進における戦略がどのようなようであったかについて伺います。これまで難病保健活動の一環として私達保健師は、「災害時個別避難計画」を含む「災害時個別支援計画の作成」に支援関係機関のみなさんと取り組み、これらの方々の災害時のニーズを、地域防災計画に反映したく活動してきました。ですが、基礎自治体の関係部署間での連携、あるいは都道府県と基礎自治体との連携をすすめることにも様々な困難を経験しています。そして今、災害対策基本法が改正され、災害時の「個別避難計画作成」が努力義務とされ、連携をすすめる、施策を推進するチャンスです。鍵屋氏からは、こういった状況にある保健師のみなさんへのアドバイスや提案、エールもいただきたく思います。

興津 静香氏

滋賀県 健康医療福祉部 健康寿命推進課 保健師

保健所における難病保健等のご活動ののち、2021 年4月より難病施策の所管にて、保健師としてご活躍です。滋賀県では、保健医療計画において難病施策の「めざす姿」と5つの取り組みの方向性を提示し、その立案・成果の評価等を行う場として、県全体あるいは保健所圏域単位での「協議会」を活用していること、そして「難病法の施行で協議会の設置が努力義務化されたことで、関係機関の方々への協力が求めやすくなり、ともにとりくみがすすめられます。」と前任の方々から、お話を伺ってきました。

本ご講演では、滋賀県における難病施策とそれらをすすめる(協議会の PDCA を含む)難病保健活動について、そして、「災害支援体制の強化」に関する「人工呼吸器使用等在宅難病患者さんの災害時個別支援計画作成」の推進を含む、市町村と連携する災害支援体制づくりのご活動等についてご紹介いただきます。

内閣府 モデル事業ご担当

内閣府

2021 年5月の災害対策基本法改正の概要と、内閣府モデル事業のめざすところをご紹介します。

佐藤 文 氏

東京都 福祉保健局保健政策部 疾病対策課 保健師

保健所等でのご勤務後、2020 年度より本庁難病所管課にて、ご活動です。東日本大震災を契機に策定された「東京都在宅人工呼吸器使用者災害時支援指針」のご紹介と、災害時個別支援計画作成の推進にかかわる事業展開についてお話いただきます。

溝口 功一氏

厚労科研 研究分担者／国立病院機構 静岡医療センター

研究班において、難病患者の災害時支援体制整備にかかわる研究を実施され、「災害時難病患者個別支援計画を作成するための指針(2017年)」「風水害に備えた人工呼吸器装着者の避難入院－医療機関への提案－(令和2年7月)」等を公表されています。本セミナーでは、「個別避難計画」にかかわる「避難入院」の提案、現状等をご紹介します。